

## 商店街での横断幕、ミニ七夕飾りの掲出

中心部商店街に、来年の七夕まつり開催に向けたメッセージを載せた横断幕のほか、フラッグポールに小さな七夕飾りを掲出します。また、周辺部商店街でも、お店の軒先や店内に、ミニ七夕飾りを掲出し、各商店街を七夕のささやかな雰囲気であふれさせます。



### 届けよう! ウェブ短冊



専用サイト上で短冊を記入できる「ウェブ短冊」を、8月8日まで受け付け中です。七夕の原点である「祈り」や「願い」を通じて、思いをつなげていきます。

<https://wish.tanabata.fun/>



仙台七夕まつり協賛会では、7月7日に、河北新報社と連携して仙台七夕の特集ページを掲載しました。これに続き、仙台七夕まつりの初日である8月6日にも特集ページを掲載予定です。仙台七夕は地域の大切な伝統文化であり、時代の苦難を乗り越えるためのシンボルとなってきた行事です。こういう時だからこそ、地域一体となって、来年の七夕まつり開催に向けて、伝統や思いをつなげていきましょう!

☎ 仙台七夕まつり協賛会 TEL265-8184 HP : <https://www.sendaitanabata.com/>



市民の方も商店街の会員のお店も、今年ならではの作る七夕を楽しみながら、来年を待っていたらと思います。新型コロナウイルスがきっかけで、今まで気に留めていなかった小さいところに目線が行く時代になりました。中途半端がなくなったからこそ原点復帰ができたと思いますので、商店街としては、来年につながるきっかけをしっかりと飾り作りのノウハウを引き継ぎ承継していきましますし、子どもたちにも七夕をやる意義を含めて私たちの思いを伝えていきます。その結果、地元に住む方々が、楽しみながら仙台七夕に参加していただくことで、よりよい思い出となり、それが「また来年この街の飾りを見に来よう」、「自分が作った飾りをここに飾りたい」といった、七夕に触れるきっかけにつながればよいと思います。日本一の仙台七夕を、市民の方々が直接自分の手で作って楽しめるように、伝統をつないでいきます。

### 日本一の仙台七夕の伝統をつなぐために

新型コロナウイルスの影響もあり、今年「見る七夕」から、願いを込めて「作る七夕」へと、七夕のあり方が原点復帰しています。当商店街では、以前から地元に住む方々が楽しんで参加できる七夕まつりを目指してきましたので、今年の七夕が、自分で七夕飾りを作るきっかけになり、それが街のにぎわいづくりにもつながれば、うれしいですね。

新型コロナウイルスの影響もあり、今年「見る七夕」から、願いを込めて「作る七夕」へと、七夕のあり方が原点復帰しています。当商店街では、以前から地元に住む方々が楽しんで参加できる七夕まつりを目指してきましたので、今年の七夕が、自分で七夕飾りを作るきっかけになり、それが街のにぎわいづくりにもつながれば、うれしいですね。

### こういう時だからこそ、自分で作る七夕を楽しんでほしい

大きさは小さくなりますが、七夕の雰囲気や少しでも味わっていたら、商店街のお店の軒先に七夕飾りを掲出します。今年も笹竹を使用しないことから、気軽に参加できるように、例年より多くのお店に掲出いただくほか、地元の子どもたちが作った飾りや短冊を飾る場所も設ける予定です。

宮町商店街振興組合 理事 佐藤 広行 氏

「見る七夕」から「作る七夕」へ。地元の方々が楽しんで参加できる七夕まつりを作っていきます。



宮町商店街振興組合 理事 佐藤 広行 氏

## 特集1

# 仙台七夕まつりの伝統を次世代へ

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年8月の仙台七夕まつりは中止が決定しましたが、この伝統文化を、途絶えさせることなく、次世代へ伝えるとともに、来年こそは盛大に開催できるように、仙台七夕まつり協賛会(当所事務局)では、さまざまな取り組みを実施しています。今月号では、そうした取り組みのほか、市内商店街の七夕にかかる思いや来年の開催に向けた意気込み等を紹介しします。

戦後、仙台商人は、いろいろな思いを込めて、毎年、飾り作りをしてきました。ですから、とにかく来年は新型コロナウイルスが収束して、普通の状態にもどることを願っています。中止となった今年の街の光景を目に焼き付けて、「やっぱり仙台の夏にとって風物詩である七夕の無い風景は寂しいよね」という思いを共有し、来年に向けて一丸となって活動していきます。お祭りは、思いや楽しさを想像できてこそのもので、皆さんも、それぞれの願いを込めて、来年の七夕まつりを楽しみに待っていただけたらうれしいですね。

### 新型コロナウイルスの収束を願い、来年に向けた活動を

戦後、仙台商人は、いろいろな思いを込めて、毎年、飾り作りをしてきました。ですから、とにかく来年は新型コロナウイルスが収束して、普通の状態にもどることを願っています。中止となった今年の街の光景を目に焼き付けて、「やっぱり仙台の夏にとって風物詩である七夕の無い風景は寂しいよね」という思いを共有し、来年に向けて一丸となって活動していきます。お祭りは、思いや楽しさを想像できてこそのもので、皆さんも、それぞれの願いを込めて、来年の七夕まつりを楽しみに待っていただけたらうれしいですね。

### 七夕飾りを通じて、仙台商人としてのメッセージを届けたい

当商店街では、協賛会が掲出する横断幕とは別に、地元のプロスポーツ団体と連携して、楽天イーグルスやベガルタ仙台、89ERSなどのチーム名が入った吹き流し飾りを、8月1日からアーケード内に掲出します。

七夕への熱い思いを感じていただきながら、来年の七夕まつりを、楽しみに待っていてほしい。



クリスマスロード商店街振興組合 理事 山崎 浩之 氏

### 市内商店街からのメッセージ